

15ヶ国のアカデミー、G8サミットに向けた共同声明を発表（5月10日）

15カ国のアカデミーは5月10日、5月半ばに米国で開催されるG8サミットに向けた共同声明「Gサイエンス」を発表した。

同声明は世界の指導者に対し、喫緊の世界的課題への取り組みにおいて科学技術が果たす重要な役割をアピールする目的で取りまとめられたもので、署名を行ったのは、ブラジル、カナダ、中国、フランス、ドイツ、インド、インドネシア、イタリア、日本、メキシコ、モロッコ、ロシア、南アフリカ共和国、英国、米国のアカデミーである。

今回の声明は、「水とエネルギー資源の保全と効率化」、「災害に対する回復力構築」、「温室効果ガスの精密な計測」の3分野から構成されており、①不可分の関係にある水とエネルギー資源を一体的に扱った統合政策の策定、②将来的な災害リスクの体系的評価との監視体制の導入、③温室効果ガスの排出源と吸収源のより正確な計測方法の構築や評価方法の標準化の必要性を訴えるとともに、科学コミュニティの活動に対する各国政府の積極的関与を求める内容となっている。

なお、水とエネルギー資源に関する声明は

<http://www.nationalacademies.org/includes/G-Science%20Energy%20Statement-FINAL.pdf>から、災害に対する回復力構築に関する声明は

<http://www.nationalacademies.org/includes/G-Science%20Resilience%20Statement-FINAL.pdf>から、温室効果ガスに対策に関する声明は

<http://www.nationalacademies.org/includes/G-Science%20Emission%20Statement-FINAL.pdf>からダウンロード可能。

National Academy of Sciences, Science Academies Issue 'G-Science' Statements to Call World Leaders' Attention to How Science and Technology Can Help Solve Global Challenges

<http://www8.nationalacademies.org/onpinews/newsitem.aspx?RecordID=05102012>